



■発行 地域活性化団体 よかつつらみさくぼ（管理受託者）

浜松市水窪支所 生涯学習グループ・水窪図書館

■問合せ/☎（053）982-0013

■町のできごと

おきながわ

翁川に夏の賑わい

7月27日(日)

「ヤマメのつかみ取り大会」が開催されました。「ここほれわんわん塾」と「天竜区観光協会水窪支部」が主催するこのイベントは今年で27回目を迎えました。

今年も町内外から多くの参加者が集まり、清流に歓声が響き渡るひとときとなりました。



夕暮れの町に「でんでこ」響く

8月10日(日)

夕暮れとともに、「虫送り念仏」が行われました。浴衣姿の若者たちが太鼓を打ち鳴らし念仏を唱えながら町を練り歩く姿は、虫に姿を変えた霊を供養するという信仰に根ざしたものの。弓灯籠に導かれ、沿道では迎え火が焚かれ、人々がそっと見守りました。先祖への敬意と地域の絆が息づく、水窪ならではの心に残る夏の風物詩です。



■文化会館のできごと 7月～8月

星空に親しむ夜

7月29日(火)

水窪文化会館の天体観測ドームと視聴覚室にて、浜松市天文台の職員による移動天文教室が開催されました。

参加者は天体望遠鏡で夏の星座や天の川を観測し、星空の解説を通じて宇宙への興味を深めました。



シニア世代の安全を守る！

7月31日(木)、地域の高齢者を対象とした。

「交通安全防犯教室」が開催されました。

参加者は「交通安全適正テスト」に挑戦し、反応速度や判断力を測定。自身の運動能力や注意力を客観的に知ることによって「思っていたより反応が遅かった」「もっと気をつけないと」といった声が聞かれ、交通安全への意識を高める機会となりました。



マダニの感染症について学ぶ

8月6日(火)

「山に生きる会」主催のマダニの感染症についての教室が開催されました。

浜松市保健所の職員を講師に迎え、マダニによる被害を防ぐための予防法や噛まれた際の適切な対処法を学びました。山間地域での安全な活動に向け、知識を深めました。



旧暦で祝う水窪の七夕

水窪の七夕は旧暦の8月7日に合わせて行われます。澄み渡る夜空には夏の星座がひととき美しく輝き、こと座・わし座・はくちょう座が描く「夏の大三角形」が浮かび上がります。

子どもたちが夏休み中ということもあり、家族で星空を見上げながら七夕の物語に思いをはせる・・・

そんな心温まるひとときとなります。

水窪文化会館に飾られた短冊も、訪れた人々の願いとともに風に揺れ、七夕の情緒を添えていました。



■文化会館からのお知らせ

水窪の伝統「ノーサ踊り」の踊り絵、8月末日まで展示中

水窪には、お盆の時期に人々が踊った念仏踊りとして、「ノーサ踊り」「セショー踊り」「十六踊り」「御岳踊り」など、地域に根ざした手踊りの伝統があります。

現在、文化会館ロビーでは、本町出身の故・弓場清先生が描いた「ノーサ踊り」の踊り絵を展示しています。

「ノーサ踊り」は三遠南信地域に広く分布し、当時の人々の暮らしや心を映した踊りとして親しまれてきました。踊り絵を通して、地域の記憶と文化の息遣いを感じてみてください。



星空観望会

天体観測ドームで星を観ましょう！！

○日時 9月18日(木)

○19時30分～21時00分

○会場 水窪文化会館 天体観測ドーム

見どころ 土星・アンドロメダ大銀河

※小学生以下の方は保護者同伴で

お願いします。



文化会館ホールステージ

無料開放！

○9月の開放日 毎週月曜日

(1日、8日、22日、29日)

○時間 9時00分～17時00分

※文化会館にあるピアノの使用、ご自分の楽器を持ち込むこともできます



地域の皆様に感謝！資料館が快適な空間に

連日厳しい暑さが続く中、水窪民俗資料館周辺では、地域のボランティアの皆様が草刈り作業を行ってくださいました。

おかげさまで、資料館周辺はすっきりと整備され、

訪れる方々にとっても心地よい環境となりました。

美しい景観と清々しい空気に包まれた資料館で、

地域の歴史や文化をより快適に感じていただけます。

ご協力いただいた皆様に、心より感謝申し上げます。





絵で読む広島原爆 かぐくのほん

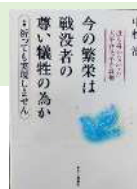
那須 正幹/文

生存者の証言をもとに再現された広島町のそこに暮らす人々の様子を描いた絵本。現実の光景と50年前とを見較べることができる。核兵器の原理や放射線障害など被爆50年間の核に関する基本的な知識も盛り込んでいる。



今の繁栄は戦没者の尊い犠牲の為か 誰も言えなかった太平洋戦争の真相 中村 治/著

殆どの戦没者は外国から日本を守る為に死んだのではない。上からの命令で日本から遥か遠い太平洋やアジアの国々を攻撃し、反撃されて亡くなったのだ…。戦中生まれで戦後民主主義教育を受けた著者が、太平洋戦争の真相を綴る。



「日本のいちばん長い日」

半藤 一利/著

昭和20年8月6日広島に原爆投下、そして、ソ連軍の満州侵略と、最早 日本の命運は尽きた…。日本政府は徹底抗戦を叫ぶ陸軍に引きずられ、先に出されたポツダム宣言に対し判断を決められない。8月15日をめぐる24時間を綿密な取材と証言を基に再現する、史上最も長い一日を描いたノンフィクション。



「第二集きけわたつみのこえ」

日本戦没学生記念会(わたつみ会)

本書に遺稿を収めた戦没学生が極限状況のなかで書き残した文章は、周囲の人々への愛情に満ち、失われようとする“生”への嘆きにあふれている。そして自らが見届けられなかったよりよい明日への希望を、後の世代に託している。青春を断ち切られた先輩学徒の悲痛な言葉を徴兵も戦争も知らない若い人々が読み取り、しかと受け止めてほしいことに尽きる。



飯田線・愛と殺人と

西村 京太郎/著

十津川警部の部下・北条早苗刑事の友人野田花世が殺害された。彼女はアイヌの青年・金子太郎と愛を育んでいたらしい。一方、飯田線をめぐる歴史と神話を勉強していた花世に、偏執的につきまとう人物がいたことが浮上して…。



野守虫 刑事・片倉康孝 飯田線殺人事件

柴田 哲孝/著

強盗容疑で勾留されていた竹迫和也が弁護士と接見中に脱走。彼は“乗り鉄”刑事・片倉康孝が6年前に逮捕した男だった。片倉は休暇を使い、秘境のローカル線・飯田線で天竜峡に赴く。



おとなの歯磨き 今日から実践できるイラスト付き！

伊東 材祐/著

99%が間違った歯磨きをしている！歯を磨く意識から、虫歯や歯周病の仕組み、それぞれの菌に対処する磨き方、口内に関する悩みのあれこれまで、歯磨きに必要なることをわかりやすく解説する。



みさくぼ 20 山

山に生きる会 著

みさくぼ百山から「特におすすめの山」または「登りやすい山」を抜粋して紹介する。



水窪の民俗

遠州常民文化談話会編

水窪は「民俗の宝庫」といわれている。およそ2年の歳月をかけた遠州常民文化談話会による民俗調査報告書。

